

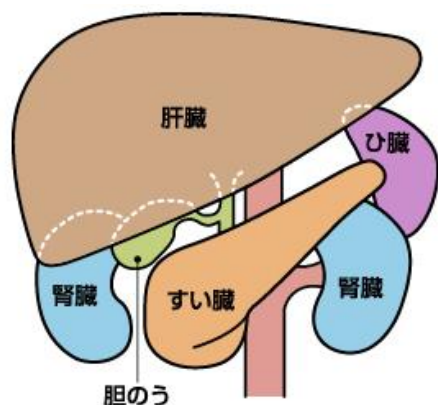
エコー検査



当院では GE ヘルスケア・ジャパン株式会社の汎用超音波診断装置「LOGIQ P9」(ロジックピーナイン)を使用しています。

当院では主に腹部エコー検査と頸動脈エコー検査をしています。心臓弁膜症についても簡易検査をしています。

1. 腹部エコーでわかること

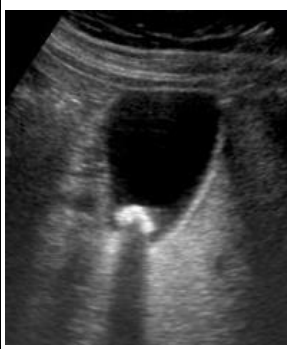
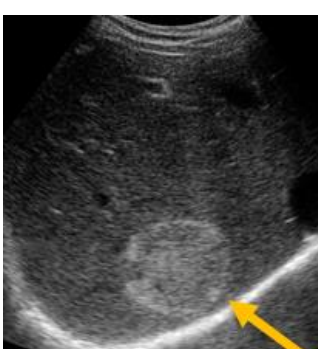



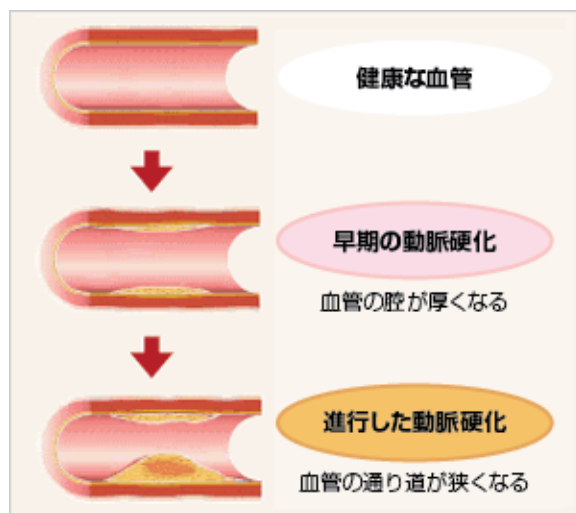
肝臓、腎臓、膵臓、胆嚢、脾臓など各臓器の腫瘍性の病気、脂肪肝、胆嚢ポリープ、胆石、腎のう胞、腎結石、尿管・膀胱結石、前立腺肥大、子宮筋腫、卵巣のう腫などがわかります。

また腸閉塞や腹水、虫垂炎などもわかります。

エコーはCTとは異なり、被爆のリスクがなく、妊婦さんにも安心して行える汎用性の高い検査です。

エコー検査

		
胆石	肝血管腫（良性）	転移性肝がん（多発）



頸動脈エコーでわかること

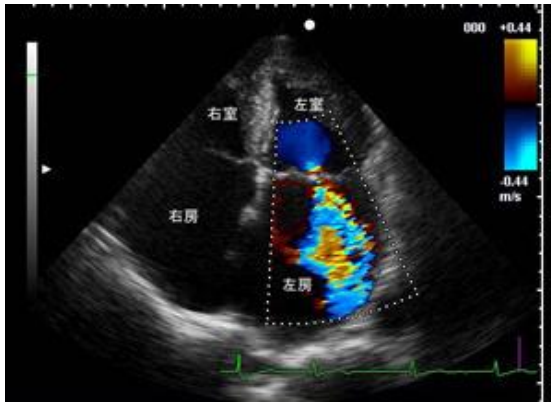
偏った食生活、運動不足、喫煙、ストレスなど、生活習慣の乱れによって動脈硬化が起こりますが、頸動脈をエコーで観察し、動脈硬化の評価を行うことができます。頸動脈の動脈硬化は脳梗塞、狭心症、心筋梗塞など全身の動脈硬化疾患との関連が深く、これらの疾患の早期発見や予防につな

げたいと考えています。

頸動脈エコーの際、甲状腺も観察可能ですが、良性悪性の鑑別の困難な腫瘍が見られた際には専門医をご紹介します。

2. 心エコーでわかること

エコー検査



高齢者では心臓弁膜症や心不全が増加しています。当院ではこれらの疾患のスクリーニングを行っていますが、詳しい評価については専門医へご紹介します。

なお婦人科系のエコーは行っていません。